

2018年4月22日（日曜日）もりの歴史を未来へつなぐプレイスメイキング ワークショップ3 「(仮称) 公園センター敷地体感ウォーキング」 開催報告

■開催概要

日時	平成 30 年 4 月 22 日（日曜日）9:30～11:30
場所	地下鉄東西線大町西公園～追廻地区
主催	仙台市
運営	AOBA JV（ディーハウス・グラック・文化財保存計画協会設計共同体）
JV 監修者	槻橋、福岡、北川
参加者総数	30名（応募30名、応募・参加者24名、当日参加者6名）
開催目的	敷地周辺のウォーキングを通して、音、地形、広さ、風などを五感を使って感じ、計画をより深く理解する。
プログラム	・ウォーキング ・意見交換 ・ルートマップ
配布資料	・平面計画プラン（全体計画、建築） ・アンケート

■プログラム

<ウォーキング 9:30-10:55 >

（仮称）公園センターの敷地周辺の、場所の魅力や楽しみ方について、実際に敷地で環境条件（風、川の音、スケール感など）を体感するウォーキングを行いました。

大町西公園からスタートし、広瀬川まちづくり協議会の方から大橋方面へ向かう手前にある河岸段丘にまつわるお話をいただきました。ここから、仙台城址への重要な登城路が始まっています。また、仙台市の公園課長からは、西公園の市民プール跡地は樹林を保存し、杜の都を象徴する保存樹林とすることや西公園も青葉山公園と一体的に考える必要があることをお話いただきました。

今回の計画地および建築範囲はあらかじめノボリを立てて範囲がわかりやすくしており、盛り土にも登れるように現場の方のご協力をいただいて、工事中の今だからこそ体感できる高さから周囲を見渡すことができました。



配布資料：ルートマップ



大町西公園からウォーキング出発。



公園課長から既存樹林保存に関するアナウンス。



広瀬川の川原に降りて敷地周辺の資源を確認。

<ディスカッション 10:55-11:15 > ※ピンク網掛け部分は参加者の発言

・もりの市民広場はイベントができるようにすることだが具体的にどのようなイベントを想定しているのか？

（福岡）フリーマーケットなど、仙台の街中の回遊性を（仮称）公園センターまで延長させ、自然豊かな体験ができるように考えている。また森の市民広場は、いくつかの小さなイベントが複数同時に開催でき、雨上がりなどは、すぐ乾くデッキなどで行えるように考えている。

・盛り土で実感したが、高低差があると感じた。市民広場の周りも階段が多く、歩きやすさについて不安がある。

（北川）今現在の盛り土は計画より高くなっている。不自然な段差はできるだけないように考えている。もりの参道もスロープ状になっており、バリアフリー動線となっている。

・桜の小径には、桜の木だけを植えて、既存樹は残さなくても良いと考えてる。千本桜のように桜のみを植える方が良いのではないのか？

（北川）当初の計画には桜の小径の名称があったため、川沿いには四季を感じられる風景を作るのが良いのではと考えた。イグネの樹種となっている柿などもあるため、あえて残して繋いでいく考え方で計画している。四月初頭に来た時は、桜が斜面に転々と咲いていた。植え方としては、線のもしくは面的に植えていく方法があるが、西公園は面的に植えられており、また青葉山は点的に植えられているため、桜の小径は線的に植えた方がよいのではないかと考えている。

・ランドスケープは空間づくりだが、広瀬川対岸のコンクリート擁壁やマンションのことも、仙台市の方で将来的なことは考えているのか？

（仙台市）青葉山公園は、この地区だけにとどまる公園ではないと考えている。堤防コンクリートやマンション、大橋など、市民、観光客の皆さんの目がたくさん集まる中でまた考えていけたら良いと思う。

・対岸の景色をどのように考えているか？

（北川）北側の道路沿いにはドイツウヒ、シラカシなどが植えられており、北風を防ぐ役割を担っている。大橋から歩くと緑の連続効果が大手門方面までつながっていくようにできている。もりの庭園の緑は、御裏林に近いものに沿わせていくことで、背景にある青葉山の自然の緑が繋がるように考えている。川は盛り土をゆるく擦り付けて、ゆるやかな斜面となるので、川の方は視線が自然と下へいく。すると視覚と聴覚の両方で川の流れ、自然を感じることができより一層川の良さを引き出すことができると考えている。

・コンクリートの土手は国の管轄、市民の要望がなければ仙台市も動けない。桜並木については、吉野山の桜のように、混色が良いと考えている。自然にちかい植生でお願いしたい。



盛り土に登りやすいように現場の方に協力いただきました。



集合写真

■アンケート内容

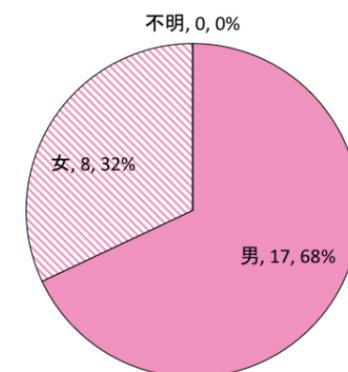
最後に以下のアンケートに答えていただきました。

01. お名前（ ）
02. 性別（ 男・女 ）
03. 年齢（ 10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上 ）
04. お住まい（仙台市：青葉区・若林区・泉区・宮城野区・太白区
その他： ）
05. エリア体感ウォーキングを通して、「気づいたこと」があれば、ご記入下さい。
06. エリア体感ウォーキングを通して、「(仮称) 公園センターにあつたら良いな」と思うものがあれば、ご記入下さい。
07. 本日のご意見、ご感想等をご自由にご記入ください。

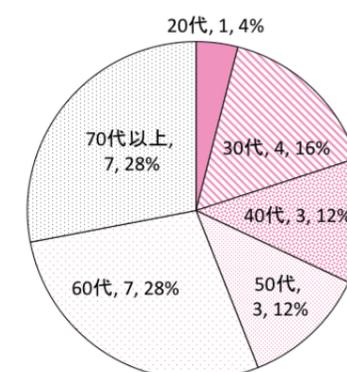
■アンケート結果

参加者 30 名のうち、25 名から回答をいただきました。

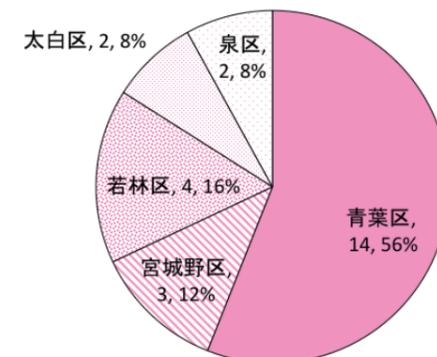
02. 性別



03. 年齢



04. お住まい



■アンケート結果つづき

05. エリア体感ウォーキングを通して、「気づいたこと」があれば、ご記入下さい。

・実際に歩いてみて、既存 GL と盛り土の高低差がかなりあると感じました。道路からの導線、広瀬川への導線をうまく処理していただければと思います。
・森の庭園に係る土壌改良は盛り土造成の段階から考える必要があるのでは？と感じました。
・盛り土の高さになると見え方が変わる。特に青葉山の緑。
・自然が多い為に、自然と建物景観の調和があれば良いと思います。
・現在の計画中の構想の風景は分かったが、細かい所でよくイメージがわからない所もあった。北川先生の樹木の色相による景観の計画、時間毎の樹木の美しさの変化はその植生場所と相まって効果があると思う。桜のみにこだわらないのもその通り。季節の変化といえばコブシや白モクレンを入れたらどうか。広瀬川に臨む川原の水辺空間はぜひ必要。
・西公園駅から大橋、大手門への登城路として再確認。盛り土の高さと広さを実感。川面からの高さも実感。森の参道の高低差を十分に考えて欲しい。広瀬川へのアプローチは段差なくバリアフリーで行けるようにして欲しい。
・敷地内に入っても案外車の音が聞こえるものだなあと感じました。森の参道の両脇の緑はもう少し厚くする必要はないかと思いました。
・高低差があるということ、立体的に確認できました。ランドスケープの福岡先生、北川先生の解説納得できました。
・西公園からも近いので利活用しやすい。
・実際に歩くとイメージがしやすかった。
・センターから見る対岸が気になった。川面が見える、音が聞こえる、は大事。
・初めての参加です。今後も参加して理解を深めたい。
・旧追廻住宅地の再利用跡地は東西線沿線活性化の為を基本に考えてもらいたい。
・日頃車で移動することが多く、今回歩いて初めての”気づき”があり楽しかった。
・建物の位置、広さを実感できました。
・広瀬川の川辺に近づくと車の音もなくなり、川のせせらぎを感じて、気持ち良いと感じた。
・施設、各エリアの境界が安全なバリアフリーであってほしいと感じました。
・2時間あまりのwalkingに際し、帽子、水、そのほかのアドバイスを記載して欲しかった。
・自然植生を中心に作ってほしい。
・広瀬川の水音、風、景観がすばらしい。
・実感を得てわかりやすかった。
・地学的、歴史的に貴重なエリアの一端を石垣等からも垣間見ることができました。
・仙台在住50年以上になりますが、景観のすばらしさを改めて認識しました。
・盛り土がない時、盛り土途中等、時々来ていたので、折々に違うが上を歩いてみて結構高さがあると感じた。センターからは長沼や川原が臨めない事に気づいた。ここは、常にウォーキング、ジョギング、川原を楽しむ等の常連愛好者がいる。
・山と広場と川とまち。

06. エリア体感ウォーキングを通して、「(仮称) 公園センターにあったら良いな」と思うものがあれば、ご記入下さい。

・広瀬川沿いは以前に崩れた石垣の残骸等で歩きにくい状態ですので、子供が水遊びできるような場所が欲しいです。
・外の水道、パーゴラ。
・仙台城址に近い為、歴史を体感できるエリア。
・変わらず飛び石(今回の計画外)ですが、お願いしたいと思います。冬に経ヶ峰、本丸下の河岸段丘に景色も綺麗なので借景として使えるポイントを作っていただけるといいと思います。
・桜の小径に桜はいらない。しだれ桜は良い。
・川と川沿いエリアを楽しめるものの貸し出し。
・子どもから高齢者まで楽しみ、軽運動ができるパークゴルフ場等もあっていいな。今回のプランには無理の様に思いますが、隣接地のプランに入れてもらいたい！
・日影。
・川原が見えるセンターを大事にしてほしい。植生は自然に近い、に共感します。
・大音楽ホール。(楽都仙台にふさわしい)
・"井戸"があればいい。
・本屋があると良いのでは？ライブラリーだけでは観光客が持ち帰れないので。
・片倉屋敷関係の資料をまとめた掲示モニュメントがほしい！観光看板ではなく。
・樹々の合間から遠景、近景等の景色が眺められる所をぜひ作って欲しいです。
・段差が多そうなので高齢者が楽にまわれるようなスロープ。
・歴史と自然と現代と未来が展示できる仙台ならではのもの。

07. 本日のご意見、ご感想等をご自由にご記入ください。

・公園の奥の方まで見れるとよかった。
・現地を見て非常に参考になりました。
・大変参考になりました。
・季節柄、桜についての声が多くあがりましたが、春以外の季節を気持ちよく楽しめる樹木なりしかけを考えていくことも大事では。
・現地を見ながらの解説は Good です。発見がありました。
・いい体験ができ勉強になりました。
・次回のお知らせお待ちしております。
・段取り等ご苦労様でした。本日はありがとうございました。
・対岸、つまり大手町花壇は大水害があった地区です。水害対策を考慮してほしいと思います。今後は今回の計画範囲より下流の方も計画されていくと思いますが、花壇、大手町の水害を考慮して進めて欲しいと思います。
・天気も良く説明もわかりやすかったです。ありがとうございました！
・もっと外周部も歩ければ良かったのでは！
・次のデザインレビューも開催してほしい。
・周囲の樹木を大切に残していただけると伺い、安心しました。"樹"の命を永くつなげる事は街の永遠な発展、調和にも影響していくと思います。命をつないでいてほしいと切望します。
・仙台の旅の思い出を楽しく語り合えるよう、皆様方の御努力で今後もお続けいただけると嬉しいです。今日はありがとうございました。好天に恵まれとても楽しかったです。
・桜は暖かくなってから咲く八重桜とかほかの公園と差別化できる種類がいいと思います。他に花見の名所があるので、このスケールでは太刀打ちできないので、"GWに見れる桜"とかが良いのでは。
・良い企画だったと思います。続けてください。青葉山、市役所、五橋、宮城野防災施設、各々の特色と未来展望を市民の議論のまとめとしてインフラメンテナンス、LCCをよく考えてください。